

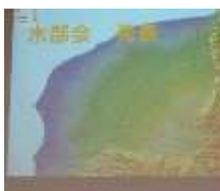
2/27 (土)

## 「冬季研究例会」



今年度受賞された研究員の披露や研究所の部会活動報告を行いました。研究発表として寺島研究員の「黒部川の語源」報告として濱西氏の「移住して分かる扇状地の魅力」、講演は国交省の所長竹下氏の「黒部川流域治水の取組」でした。寺島研究員や竹下氏の内容は研究紀要 46号に詳しく掲載されます。

濱西氏の発表では、私たちが当たり前に食べている野菜や海産物、水を「贅沢」と感じることや自然、風景に対し「贅沢を独り占めしているようだ」との言葉に、人の「暮らしの質」を考えさせられました。かけがえのない我が子の子育ての経験を交え「暮らしの豊かさとは何か」を問いかける感慨深い発表でした。



水部会の発表



### 濱西若奈さん

沖縄県出身。アメリカの大学を卒業、台湾、東京、そして富山(入善)と住んで分かった扇状地の良さ! 「食べ物・景色・自然」子育てに最高の場所だとか。もっと聞きたい人は「黒部アクア」1F カフェ「ガンジュー」で!



### 6部会の活動報告

当研究所の設立の趣旨に基づき、6つの調査研究部会が今年度の活動報告をしました。地域変容部会はドローンで地域の景観の変容を記録し、発表しました。

<3月2日北日本新聞 26面>

### —扇状地に冬鳥—

大雪の今年 やってきました  
ハクチョウ・コハクチョウ・ガン等

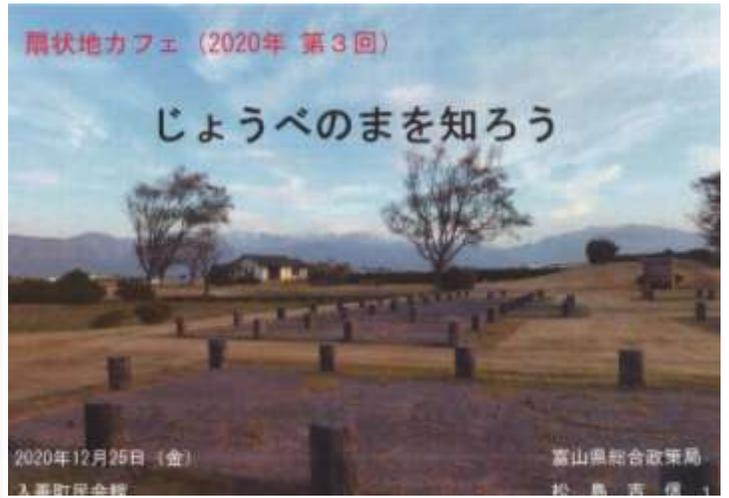


### 風車とガン(左)とヒシクイ(右) (写真提供 井口氏)

1月8日からの記録的な大雪。その後の晴間に除雪をしているとV字飛行のコハクチョウやガンの群れを見た人も多かったのではないのでしょうか。新潟県も大雪で、富山県の方に飛来して来たのか?! 町内のあちこちで見られました。



扇状地カフェ 12/25(金)  
IN 町民会館 「じょうべのま」



「じょうべのま遺跡」

国指定史跡だと知っていたが...

多くの参加者を迎えての最終回。町民会館2階は、ほぼ貸切状態でした。三密を避けた夕食会場や学習会場。「学校で習う歴史は勝者がつくったもの、遺跡から発掘されるのは庶民の暮らし...」説得力のある話しぶりにつつい引き込まれてしまいました。

「じょうべのま」は、黒部川扇状地で米が作られ、それを都に運んでいた証拠です。黒部川といえば洪水の歴史に目がいきがちですが、扇状地は水があって米作りに適していた場所もあったのでしょうか。入善にとどまらず、大伴家持の活躍など富山県全体の歴史と関わらせた話は有意義で、今も昔も変わらぬ人々の営みがあったことを改めて感じました。

次年度の「扇状地カフェもお楽しみに！

扇状地の春 墓ノ木自然公園

公園の入り口付近の川に水芭蕉が咲き始めました。(3/11) 降雪の少なかった昨年は2月から咲いていました。積雪量によって開花時期に違いがあるようです。落葉樹で明るい公園内を歩いてみませんか。



水芭蕉(上)と落葉したコゴメヤナギ

今年の大雪で公園内の樹木も倒木や枝の裂け目が目立ちます。明るく、鳥の鳴き声が聞こえます。